



特集

# 令和元年度 石岡市の予算

市では、限られた財源の中で、地域の課題に的確に対応できるよう、各種事業を進めています。本年度の予算の概要をお知らせします。

今泉文彦石岡市長 施政方針 抜粋

(平成31年2月26日)

## はじめに

本年1月4日、石岡市役所新庁舎が開庁しました。この庁舎は、行政の府あるいは防災の拠点に加え、広く市民に開かれたスペースであり、まさに「市民のお役に立つ所」として、多くのひとが集う「まちづくりの拠点」であると考えています。そのため、職員共々全体の奉仕者の精神に立ち返り、市民目線・おもてなしの心・チェンジ・チャレンジ精神で市民サービスに意を尽くします。

## 45年ぶりの国体開催

本年9月28日から国民体育大会が、本県で45年ぶりに開催されます。本市はバドミントンが正式種目としての会場となり、さらにはデモンストレーションスポーツとして5種目が開催されます。市全体で気運を盛り上げ、最大限のおもてなしにより、選手、観客の皆様を歓迎し、大会を成

功に導けるよう努めます。

## 本市の現状

現在、本市の最大の課題は、人口減少と少子高齢化への対策です。合併当初から人口は約8千人減少、1年間の出生数は500人を下回り、65歳以上の高齢者の割合は3割を超えています。

石岡市が「任んでみたいまち、住み続けたいまち」であるためには、「人口減少に歯止めをかける施策」と「人口減少・少子高齢化社会に対応するための施策」の2つを、それぞれの視点に基づき、迅速に展開していく必要があります。

しかしその一方で、人口減少、少子高齢化を悲観的に捉えるのではなく、新たなイノベーションによる量から質への大きな転換を図るものと考え、それに基づく対応も取り組みの一環として位置付けてまいります。

## みらい創造プラン

令和元年度は、「みらい創造プラン」の2年目の年であり、プランに基づく様々な事業を本格的に推進する年度です。行政経営における資源の徹底した「選択と集中」、他自治体や企業、市民との「連携と協働」により、「みらい創造プラン」の取り組みを加速し、新しい価値観を創造します。

## 石岡市の未来のために

石岡市の未来を担うのは、地域の子どもたちです。地域の課題に取り組みながら、次代を担う子どもたちが、未来に希望をもって、夢を描いていける、素晴らしい石岡市を市民の皆様とともに、創りあげていきたいと思えます。



# 令和元年度 注目の事業紹介

令和元年度  
石岡みらい創造プロジェクトより



▲ 産後ケア事業

人口減少に歯止めをかけるため、出生率の向上が課題となっています。安心して結婚・妊娠・出産、子育てをすることができる環境の充実と子育てに係る経済的負担への支援が必要です。少子化と多様化する子育て需要に対し、安心して子どもを産み育てやすい環境を整え、子育て世代に魅力的なまちづくりを推進します。



▲ 子ども図書館本の森での読み聞かせ会

石岡市には、豊かな自然歴史があり、地域の資源を活用した、市ならではの教育を推進できる環境があります。児童・生徒が健やかに育ち、豊かな心と生きる力、確かな学力を身に付けられるよう未来の担い手育成に努めます。また、地域と連携し、児童・生徒がいきいきと学べる創意と活力に満ちた学校づくりに取り組みます。

## ◆ 子どもの森整備推進事業 【新規】 1,980 千円

総合的な子育て支援を展開する拠点の機能等に関する調査を実施

## ◆ 不妊治療費助成事業 【拡充】 3,750 千円

特定不妊治療助成に加え、県助成事業対象外の不妊検査等に要した費用の一部を助成

## ◆ 妊婦タクシー利用補助事業 【新規】 500 千円

妊娠 28 週以上の妊婦が健診・出産で利用するタクシー運賃の一部を助成

## ◆ 学校施設環境改善事業 【新規】 10,000 千円

中学校の特別教室へ令和 2 年以降計画的に空調を整備するための設計を実施

## ◆ ICT 環境整備事業 【拡充】 19,553 千円

市内全小学校にタブレットを配備し、ICT 教育を計画的に推進

## ◆ 図書館創立 130 周年記念事業 【新規】 2,417 千円

関東随一の歴史を擁する市立中央図書館が創立 130 周年を迎えるにあたり、「記念誌の発刊」「講演会」「企画展・展示」の 3 事業を実施

① 結婚・子育て応援プロジェクト

② 教育改革プロジェクト

令和元年度 注目の事業紹介



▲ 柏原工業団地

働く世代の転出抑制、転入促進のため、雇用の創出を図ることが必要となっています。

そのため、市の強みを生かし、農業や商業の振興、企業誘致など、産業の振興を支援します。

市内の就業機会の拡大を図り、働く世代に魅力的なまちづくりに取り組みます。



▲ サイクリングイベント（ライドツアー）

石岡市には、豊かな自然や歴史・文化などの様々な地域資源が多くあります。

これらの地域資源の魅力の向上を図るとともに、市内外に情報発信をすることで、交流人口の更なる増加を図ります。

そして、首都圏のなかでも個性輝く魅力的なまちづくりに取り組みます。

③ 雇用・産業充実プロジェクト

◆ 石岡市プレミアム付商品券発行費補助事業【新規】  
13,750 千円

市内消費喚起を図るため、市内商業団体が実施するプレミアム付商品券発行費の一部を補助

◆ 製造業水道使用料金助成事業【新規】 8,200 千円

既存企業の定着化と企業誘致等を図るため、年間水道使用量 5,000 m<sup>3</sup>を超える市内製造業者に対し水道料金の一部を助成

◆ 石岡セレクション認証事業【新規】 150 千円

市内事業所等が生産・製造・加工・販売を行う、魅力ある農林水産物・加工品等の認証制度構築を検討

◆ りんりんタウン構想推進事業【拡充】 5,999 千円

サイクルラックの整備拡充、マップ作成、イベントの開催など、りんりんタウン構想に基づく取り組みを実施

◆ 総合支所庁舎有効活用推進事業【新規】  
14,192 千円

総合支所の余剰スペースを活用し市民に開かれた環境を実現するための基本設計・実施設計を実施

◆ 石岡のおまつり魅力アップ事業【拡充】 18,790 千円

山車獅子位置情報サービス多言語化を行い、外国人観光客等に向けた環境を整備

④ 魅力アップ観光交流プロジェクト

## 令和元年度 注目の事業紹介



▲ 地域を舞台とした防災訓練

日常生活における安全への備えが重要だと強く認識されています。安心して暮らせる環境を整えるため、防災行政無線の充実を図るとともに、防災や防犯に関する取り組みを推進します。

また、市民生活の向上や産業の振興に欠かせない都市基盤の充実を図り、快適で活力のある都市づくりを進めます。



▲ 国体リハーサル大会

長寿社会の到来によって高齢者比率は増加し続けています。人生の中で培ってきた豊かな知識や経験を、地域社会の活性化につなげていく視点が重要となり、生涯現役で暮らせるまちづくりを目指します。

また、本年9月の国体や東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興を図り、誰もが健康に生活できる環境づくりを進めます。

### ◆ 防災行政無線更新及び戸別受信機配備事業 【新規】 321,173 千円

防災行政無線「ぼうさいやさと」のデジタル化更新、「ぼうさいいしおか」の戸別受信機配備を行い、防災行政無線の一元化に向けた整備を実施

### ◆ 障がい者防災対策支援事業【新規】 1,500 千円

避難時における適切な支援を図るため、視覚・聴覚の障害を有する人で希望者に防災ベストを配布

### ◆ 総合防災訓練実施事業【継続】 4,680 千円

大規模災害を想定した総合防災訓練を庁舎で実施することで、庁舎の防災機能や緊急時の対応を確認

### ◆ 国体開催事業【拡充】 83,195 千円

茨城県で45年ぶりとなる「いきいき茨城ゆめ国体」において、バドミントンとデモンストレーション競技5種目を、競技団体・ボランティア等と協力し実施

### ◆ 就労準備・家計改善支援事業【新規】 4,627 千円

生活困窮者に対する包括的な支援体制を強化するため、自立相談支援・就労準備支援・家計相談支援を一体的に実施

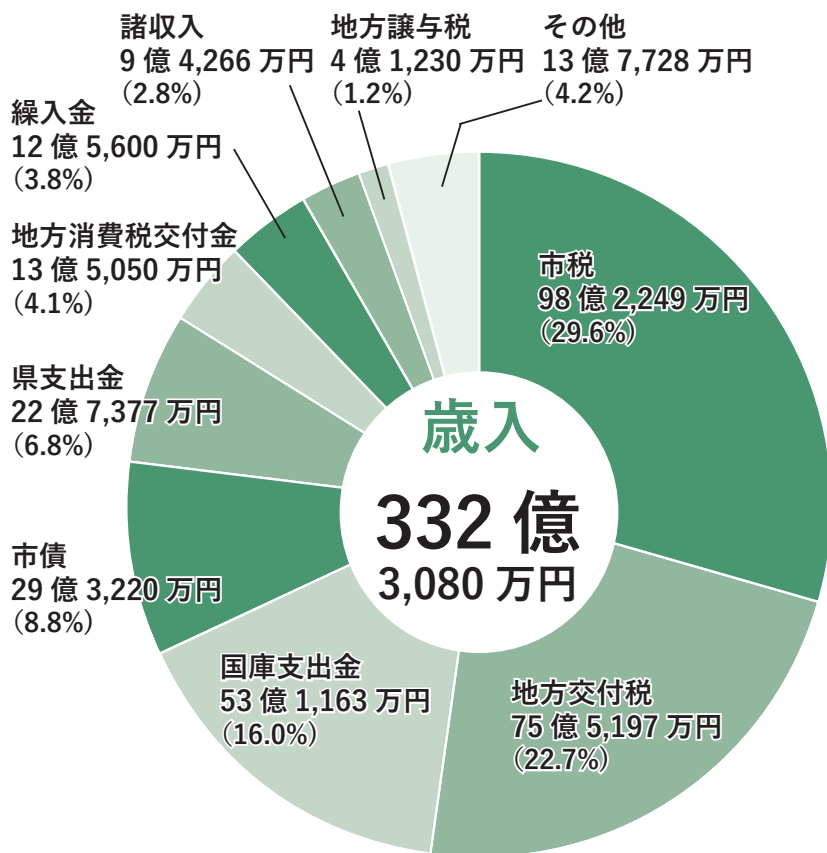
### ◆ 地域医療対策事業【新規】 300 千円

石岡地域市民医療懇談会で課題とされた医師確保等の対策を検討するため、地域医療に係る対策を検討する専門委員会を組織

⑤ 安全・安心・快適生活プロジェクト

⑥ 生涯現役・健康プロジェクト

# 一般会計 歳入



令和元年度の一般会計 予算総額は

332億3080万円 (前年度比3.7%増)

## 一般会計の概要

一般会計予算額は332億3080万円で、前年度比で11億7080万円、3.7%増となりました。

## 歳入(一般会計)

歳入のうち、最も大きな割合を占める市税は、市民税・固定資産税の増が見込めることなどから、98億2249万

## 歳出(一般会計)

円と前年度比0.6%増を見込んでいます。歳出のうち、最も大きな割合を占める民生費は、プレミ

アム付商品券事業や障害者自立支援給付事業等により、122億704万円と前年度比7.7%増を見込んでいます。

## 令和元年度の特別会計 予算総額は

208億2411万円 (前年度比1.6%増)

## 特別会計の概要

市には、一般会計のほかに九つの特別会計があります。特別会計は、法律の規定に基づくものと、収支を一般会計と分けて経理した方が効率的であるために設けているものがあります。令和元年度の特別会計予算額は208億2411万円で対前年比1.6%増を見込んでいます。特別会計で予算額が大きいものとしては、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計

などがあります。

国民健康保険特別会計は、国民健康保険事業費納付金の減などにより、5億2436万円の減となっています。

また、介護保険特別会計は施設介護サービス給付費の増などにより、5億7195万円の増となっています。

少子高齢化の進展など社会情勢の変化に伴い、より効率的で適正な事業の推進が求められています。

## 問財政課

Tel 23・7293



令和元年度の予算の詳細は、市ホームページで公開しています。その他ご不明な点はお問い合わせください。

主な項目の前年度比較

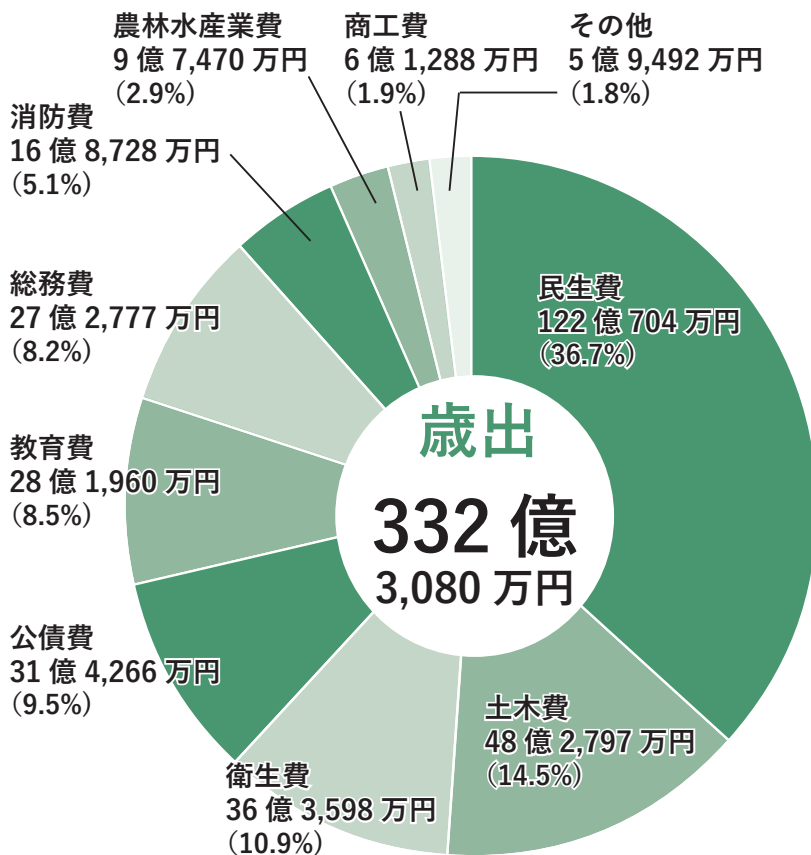
歳入

名称	前年度比
市税	0.6% 増
地方交付税	12.8% 増
国庫支出金	26.3% 増

歳出

名称	前年度比
民生費	7.7% 増 プレミアム付 商品券事業等
土木費	45.4% 増 上曾トンネル 整備事業等
衛生費	55.0% 増 霞台厚生施設 組合負担金等

一般会計 歳出



令和元年度特別会計（予算総額 208 億 2,411 万円） 会計別予算

特別会計	予算額	前年度比
国民健康保険特別会計	81 億 3,191 万円	▲ 5 億 2,436 万円
下水道事業特別会計	23 億 4,160 万円	1 億 7,327 万円
駐車場特別会計	2,808 万円	48 万円
農業集落排水特別会計	3 億 4,678 万円	▲ 299 万円
霊園事業特別会計	1,269 万円	▲ 490 万円
介護保険特別会計	79 億 4,089 万円	5 億 7,195 万円
介護サービス事業特別会計	3 億 1,274 万円	42 万円
後期高齢者医療特別会計	8 億 8,484 万円	4,755 万円
水道事業特別会計 ※	8 億 2,457 万円	6,444 万円

※ 収益的支出と資本的支出の合計額を記載。